

公表

放課後等デイサービス事業所における自己評価総括表

○事業所名	きずなの森		
○保護者評価実施期間	令和 8 年 2 月 2 日		～ 令和 8 年 2 月 14 日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	9	(回答者数) 8
○従業者評価実施期間	令和 8 年 2 月 2 日		～ 令和 8 年 2 月 14 日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	10	(回答者数) 9
○事業者向け自己評価表作成日	令和 8 年 3 月 11 日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・プログラムが充実 夏休み・冬休み・春休みなど学校の長期休み期間中は毎日異なるプログラムを提供している。	・プログラム担当チームがプログラムを検討し、特に長期休業期間前には全スタッフ(社員とアルバイト全員)で意見交換を行って内容をブラッシュアップしている。	・プログラム終了後や長期休業期間終了後のスタッフ間の振りかえりを行うことは当然のこととして、児童や保護者からのプログラム評価をさらに丁寧に行い、以降のプログラム立案に活かしていく。
2	・柔軟なサービスの提供 訪問介護(行動援護、同行支援等)やショートステイ、生活介護やグループホームを運営する事業者として、柔軟で継続的・長期的なサービスの提供を可能としている。	・たとえば、送迎時間の変更やサービス提供時間外の送迎依頼に対しても、本事業者が実施している訪問介護との連携を図ることにより可能な限り対応している。 ・定員いっぱいでも即時受け入れが難しい時に、系列事業所への紹介ができる。	・放デイの他にも訪問介護やショートステイ、生活介護、グループホームを運営する事業者としての強みを活かし事業間の連携をさらに強化しサービスを提供することで新規開拓や現利用者の利便性を高めることに繋がる。
3	・スタッフのコミュニケーション 時には厳しい意見が飛び交うこともあるが、支援の質を向上させるために遠慮なく意見を出し合える関係性は強みであると考えている。	・毎日の支援の開始前に行う全スタッフでのその日の動きの確認に加え、児童の様子や支援について気になっていることなどを共有し意見交換を行っている。ただ共有するだけではなく改善が必要なことは徹底的に話し合う。	・毎日のスタッフ打合せで行われる各児童の支援方法の確認や修正、共有事項などは文書化して保存されないことが多いため、これを丁寧につけて可視化することで支援のバラつきを防ぎ再確認することができる。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・スタッフの精神障がい児に対する理解と支援の質の向上 さまざまな障がいやその特性に応じた支援方法を全スタッフが十分に理解して支援を行っているとは言いがたい。	・年齢も経験もさまざまなスタッフは入社時期もバラバラであり、単発の研修は実施されているが年齢や経験に応じた研修体系が確立されていないことが課題。	・年齢や経験、資格もさまざまなスタッフがその段階に応じた内容の研修が体系的に受けられるよう研修プログラムを確立する。
2	・事業所、事業内容ともにまだまだPR不足 HPやインスタでの情報発信は行っているが十分ではない。	・たとえばインスタは特定のスタッフが発信を担っており、HPについてはスタッフ間で内容を話し合うことができていない。	・インスタの投稿内容について定期的に意見交換し、HPについてもスタッフミーティングで検討を行う時間を確保して内容を充実していく。
3	・定期的な保護者会の開催	・会議での議題は出るが日程の調整ができず開催に至らない。	・年に一度の開催時期を固定化し保護者への周知に努める。